

4,000人の観客！感動の拍手喝采 現代版組踊「肝高の阿麻和利」東京で熱演！

文京シビックホール 大ホール

8月20日(日)、21日(月)の2日、多くの観客が感動の拍手喝采を送り、現代版組踊「肝高の阿麻和利」が東京文京区シビックホールにおいて全4公演をおこないました。約4,000人の観客の感動の拍手と、ステージングオブセッションに会場全体が感動の渦に包まれ、演じきつた子どもたちからは、「感動を与えるつもりが、逆に感動をもらっておいりました」と話している。市では2023年4月26日、多くの人々を感動させる地域であり続けるために、全国初となる「感動産業特区」宣言し、アンバサダーの第1号には、地元の中高生が中心となり活動をしている現代版組踊「肝高の阿麻和利」を認定しました。「感動」を「産業」に、を合言葉に、行政だけでなく、今後も市内事業者および市民の方々を含めた地域全体でまちづくりを推進します。

中高生が20万人を感動させた奇跡の舞台。総勢100名超東京公演が実現。

現代版組踊
肝高の阿麻和利

初演オリジナル演出：平田大一 演出：高宮真白 脚本：橋本寿志

